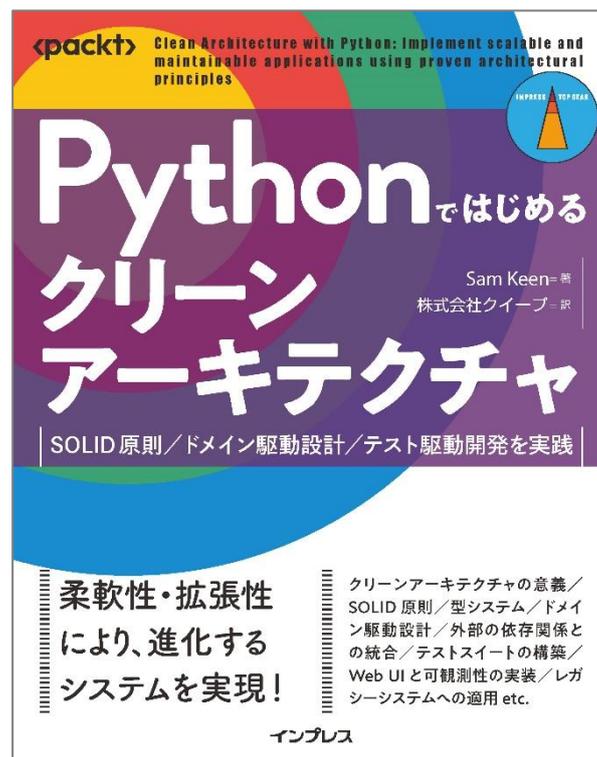


各 位

2026年3月4日
株式会社インプレス

アプリケーションの拡張・保守が整然と行える！
その方法と効果を解説する実践的指南書
『Python ではじめるクリーンアーキテクチャ
SOLID 原則／ドメイン駆動設計／テスト駆動開発を実践』を3月4日に発売
発売を記念して第1章を2週間、無料公開

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、ソフトウェアの設計・開発に携わる方々に向けて、拡張性や保守性が高いアプリケーションを構築できるようにするクリーンアーキテクチャを解説し、Pythonによる実装方法を示した書籍『Python ではじめるクリーンアーキテクチャ SOLID 原則／ドメイン駆動設計／テスト駆動開発を実践』を2026年3月4日（水）に発売いたします。



■コンポーネントの依存関係を一方向にする設計手法

現代のソフトウェア開発では、アプリケーションの複雑さが増しつつも、長期間にわたるメンテナンスが求められます。そのような状況に対応できるのがクリーンアーキテクチャです。2012年に提唱されたこのソフトウェア設計手法では、コンポーネントの依存関係を一方向にすることで、ビジネスロジックがフレームワークやデータベースといった外部技術に直接依存しなくなり、拡張やテスト、保守が容易に行えるようになります。では、実際にこの設計手法をどのように実践していけばよいのか—本書ではPythonを活用することでその実践方法を明確に示しています。

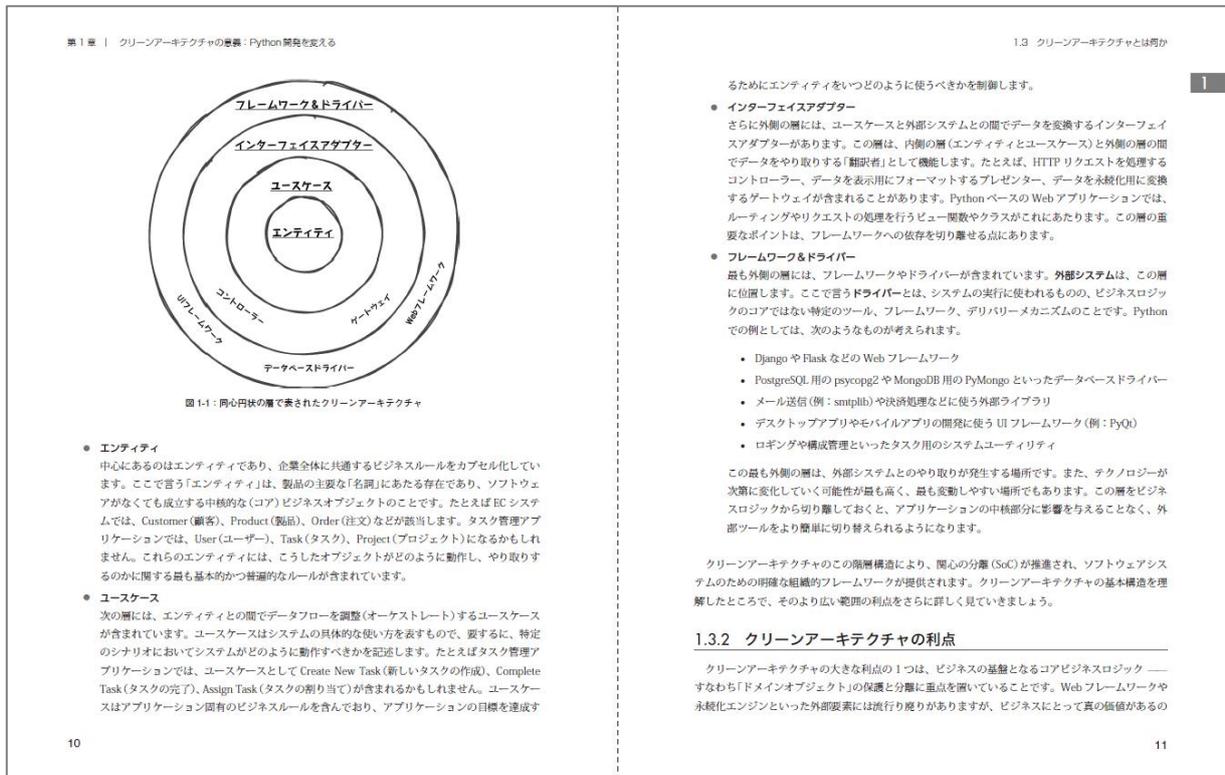
■クリーンアーキテクチャの理論的理解と実践的スキルを習得できる

本書では、アプリケーション開発において「クリーンアーキテクチャ」の原則をどのように適用し、拡張性と保守性の高いシステムを構築すればよいのか、あるいは既存のシステムをどのようにリファクタリングすればよいのかについて、Python を使って実践的に解説します。具体的には、コアとなるビジネスロジックを外部の関心事から切り離す方法、コンポーネント間で明確なインターフェイスを作る方法、そしてビジネス環境などに基づく要件の変化に適応させる方法などを学んでいきます。本書の内容を理解することで、自身のプロジェクトでクリーンアーキテクチャを実装するための理論的理解と実践的スキルの両方が養えるはずですよ。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ ソフトウェアアーキテクト、テクニカルリード、DevOps エンジニアの方
- ・ Python アプリケーションを開発しようと考えている方、開発・保守をしている方

■紙面イメージ



クリーンアーキテクチャの基礎を解説

スク管理アプリケーションに取り込んでいきます。まず、ビジネス要件の分析という重要なステップから見ていきましょう。

4.2.2 ビジネス要件を分析する

DDDの原則を取り入れるための最初のステップは、ビジネス要件を徹底的に分析することです。このプロセスでは、単に機能をリストアップするだけではなく、そのドメインを支配している本質的な概念、ワークフロー、ルールを深く掘り下げる必要があります。

たとえばタスク管理アプリケーションでは、次のような問いについて考える必要があります。

- タスクの一貫性を定義するものは何か
- タスクの優先度はそのシステム内での振る舞いにどのように影響するか
- タスクが異なる状態に遷移するときのルールは何か
- タスクリストは個々のタスクの集まりか、またタスクはプロジェクトの一部か
- 期限を過ぎたタスクをどう扱うべきか

こうした問いは、このドメインの根本的な側面を理解する上で助けになります。たとえば、タスクはGUID (Globally Unique ID) によって一意に識別され、その優先度はタスクリストでの並び順に影響する可能性があるといったルールが見つかるかもしれません。また、「一度完了したタスクは、再開されない限り、進行中には戻せない」といったルールを定義することも考えられます。

ここで重要なのは、DDDのこの段階では、まだコードを書かないことです。開発者としては、これらの概念をすぐに実装したくなるかもしれませんが、その誘惑に負けないでください。DDDの真髄は、コードを1行も書かないうちに、ドメインを徹底的に理解して正確にモデル化することにあります。この段階でのドメイン分析という先行投資は、より堅牢で、柔軟で、正確なソフトウェアモデルという形で、後々必ず報われます。

4.2.3 ドメインモデリングの中心的概念

DDDには、ドメインを効果的にモデル化するための主要な概念がいくつかあります。その中心にあるのが、**ユビキタス言語** (ubiquitous language) という考え方です。ユビキタス言語とは、開発者とドメインエキスパートの双方が共有する共通の厳密な語彙のことです。この言語をコード、テスト、日々の会話の中で一貫して使うことで、誤解を防ぎ、モデルをビジネスドメインと常に整合した状態に保つことができます。

タスク管理アプリケーションの例では、この言語には次のような用語が含まれます。

- **タスク**: 完了すべき作業の単位
- **プロジェクト**: 関連するタスクの集合
- **期限**: タスク完了の期限
- **優先度**: タスクの重要度 (例: 低、中、高)
- **ステータス**: タスクの現在の状態 (例: 未着手、進行中、完了)

ユビキタス言語が確立されたところで、ドメインモデルの実装に役立つDDDの基本的な構造概念を見ていきましょう (図 4-1)。

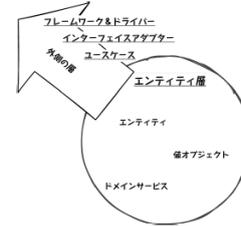


図 4-1: クリーンアーキテクチャのエンティティ層と DDD の概念

図 4-1 に示したように、クリーンアーキテクチャがシステムの中心にエンティティ層を配置するのに対し、DDDはエンティティ層を構成する具体的なコンポーネント (エンティティ、値オブジェクト、ドメインサービス) を提供します。これらのコンポーネントを詳しく見てみましょう。

- **エンティティ**
属性が変化しただとしても維持されるアイデンティティ (IID) によって定義されるオブジェクト。たとえば Order オブジェクトは、ステータスが「保留中」から「出荷済み」に変わったとしても、同じ Order オブジェクトとして扱われます。クリーンアーキテクチャでは、これらのコアビジネスオブジェクトはシステムの中心にある最も安定したルールを体現します。

ビジネス要件の分析とドメインモデリングについて解説

■本書の第1章を2週間限定で無料公開

書籍の発売を記念して、第1章の内容を2週間限定で無料公開いたします。それらの内容は、弊社開発の「インプレス Web ブックビューアー」を使って、登録不要かつ Web ブラウザで紙面を閲覧できるので、場所や時間を選ばずに PC やスマートフォンなどから利用できます。使用するビューアーは SNS で書籍の情報を共有したり、書籍の購入や詳細を確認したりできる機能も備えています。

・『Python ではじめるクリーンアーキテクチャ SOLID 原則 / ドメイン駆動設計 / テスト駆動開発を実践』

無料公開へのリンクを掲載したページ: <https://book.impress.co.jp/books/1125101112>

【公開期間: 2026年3月4日(水)から3月17日(火)まで】

■本書の構成

◆Part1 Python でのクリーンアーキテクチャの基礎

第1章 クリーンアーキテクチャの意義: Python 開発を変える

第2章 SOLID 原則: 堅牢な Python アプリケーションを構築する

第3章 Python の型システムを使ってクリーンアーキテクチャを強化する

◆Part2 クリーンアーキテクチャを Python で実装する

第4章 ドメイン駆動設計: コアビジネスロジックを構築する

第5章 アプリケーション層: ユースケースのオーケストレーション

第6章 インターフェイスアダプター層: コントローラーとプレゼンター

第7章 フレームワーク & ドライバー層: 外部インターフェイス

第8章 クリーンアーキテクチャによるテストパターンの実装

◆Part3 クリーンアーキテクチャを Python で適用する

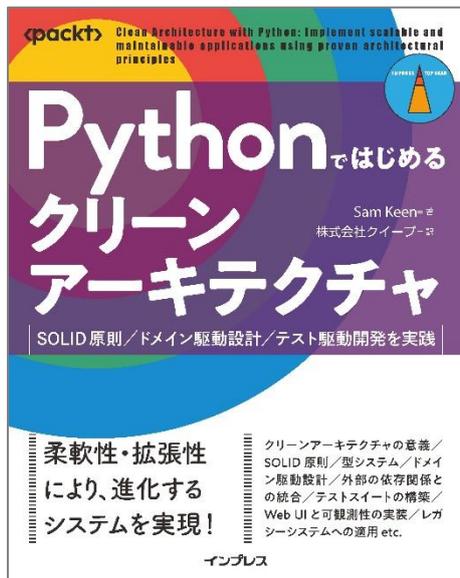
第9章 Web UI の追加: クリーンアーキテクチャのインターフェイスの柔軟性

第10章 可観測性の実装: 監視と検証

第11章 レガシーからクリーンへ: 保守性を高める Python のリファクタリング

第12章 クリーンアーキテクチャの旅: 次なるステップ

■書誌情報



書名：『Python で始めるクリーンアーキテクチャ SOLID 原則/ドメイン駆動設計/テスト駆動開発を実践』（impress top gear シリーズ）

著者：Sam Keen

訳者：株式会社クイープ

発売日：2026年3月4日（水）

ページ数：344 ページ

サイズ：B5 変型判

定価：3,850 円（本体 3,500 円＋税 10%）

電子版価格：3,850 円（本体 3,500 円＋税 10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02404-0

◇Amazon の書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/429502404X/>

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1125101112>

■著者プロフィール

Sam Keen（サム キーン）

25年以上の経験を持つソフトウェアエンジニアリングのリーダー。複数のプログラミング言語を使いこなす開発者。小規模なスタートアップから、AWS、ルルレモン、ナイキといった大手企業まで、さまざまな業界のシステムでPythonを活用。著者の専門知識は、クラウドアーキテクチャ、継続的デリバリー、スケーラブルなシステム構築など多岐にわたる。

■翻訳者プロフィール

株式会社クイープ

コンピュータシステムの開発、ローカライズ、コンサルティングを手がけている。最近の訳書に『LLM 本番システム構築ノウハウ 基礎から実装・運用の方法、アプリ構築の実例まで』がある。そのほか『Python ライブラリによる因果推論・因果探索 [概念と実践] 因果機械学習の鍵を解く』、『グランドマスター三冠の Kaggle ノートブック開発術 単変量解析から地理情報分析/偽動画検出/LLM まで』などを翻訳（いずれもインプレス発行）。

■impress top gear シリーズについて



impress top gear シリーズは、21世紀のIT時代に求められる新たなトレンドを取り上げることに加えて、これまでの技術・知識を時代に合わせた形で提供する技術解説書です。読者がITのフィールドで「トップギア」へとシフトチェンジできるような技術・知識を書籍として提供していきます。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT

関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。